



平成29年10月3日

報道発表資料

南武線の混雑緩和に向けたオフピーク通勤の実験的取組を行います

J R南武線は、朝の通勤時間帯の混雑率が首都圏の中でも高い値(188%(H28))となっています。これまで鉄道事業者であるJ R東日本により、ピーク時間帯の増発や幅広車両の導入等の対応がとられ、徐々に混雑率の緩和が図られてきましたが、更なる輸送力増強には、線区全体にわたって大規模な改良が伴うなど、時間を要することが想定されます。

そのため、本市としては、混雑緩和に一定の効果が見込まれる“市職員”のオフピーク通勤の取組を推進するとともに、その効果を検証するため、市の「働き方・仕事の進め方改革」の取組とも連携し、J R南武線を利用する職員を対象として、時差勤務の試行によるオフピーク通勤の実験的取組を行います。

本市のオフピーク通勤の取組を進めるにあたり、今後もJ R東日本と調整しながら、沿線企業等も含めたオフピーク通勤の普及・促進方策を検討してまいります。

市職員のオフピーク通勤の実験的取組（時差勤務の試行）の概要

1 実施期間

平成29年11月16日（木）～11月30日（木） 【平日10日間】

2 対象者

J R南武線最混雑区間（武蔵中原→武蔵小杉）を利用する職員

※平日8時30分～17時15分に勤務している職員を対象とします。

※個人の生活及び職場の業務に支障のない範囲で実施します。

3 時差勤務のパターン

J R南武線の混雑緩和に効果が見込まれる次の時間設定とします。

① 7時30分～16時15分

② 9時30分～18時15分

4 その他

実施期間終了後、オフピーク通勤の効果や時差勤務の運用等の検証を行います。

川崎市まちづくり局交通政策室 担当久木田

電話 044-200-2760

川崎市総務企画局労務課 担当峰岸

電話 044-200-2145